



東京本郷ロータリークラブ週報



2014-2015 年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリーに輝きを」
東京本郷ロータリークラブテーマ 「地域社会に密着した奉仕活動を推進しよう。」

創立/平成3年3月13日(1991年)
事務局/〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-9-6-905 電話:03-3238-5350 FAX:03-3238-5352
インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: office@t-hongo-rc.gr.jp
例会:毎週水曜日12時30分 例会場:ホテルメトロポリタンエドモント 電話:03-3237-1111
〒102-8130 東京都千代田区飯田橋3-10-8
会長:柴山修一 副会長:大住省一 会長エレクト:河合 洋 幹事:松岡 浩 会報委員長:飯田美里

2月4日 第1124回例会

2015年2月4日発行(No.1079)

本日の卓話

「ふるさと文京四方山話」

秋本 康彦 会員

紹介者 深澤 壽一 会員

*2月11日と18日は休会となります。

次回の例会(2月25日)

ビュッフェ例会

— 会員懇談 —

加をご検討下さい。

登録の確認のため、事務局よりメール配信をいたします。

1月28日 第1123回例会報告

ビュッフェ例会

— 会員懇談 —



懇談の様子

幹事報告

- 2月のロータリーレートは、1ドル=118円となりますので、お知らせします。
- 地区から2月23日のロータリー創立記念日を中心に本年度も公共広告を主要都市の大型ビジョンとクラブのホームページで展開する計画を進めていると、連絡がありました。
都内では、有楽町、新宿、池袋等で放映されます。
当クラブでホームページでも掲載するよう、広報委員会にて準備中です。
期間は2月1日から約1ヶ月を予定していますので、期間中にクラブホームページを是非ともご覧下さい。
- 1月27日(火)地区職業奉仕委員会が開催され、井田会員が出席されました。

出席

会員数:51名 欠席出席免除者:5名 出席数:36名
欠席数:10名 出席率:78.26%
1月14日修正後出席率:85.11%
ビジター:1名

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ニコニコBOX

*林 一好 会員

長久保さん先日はありがとうございました。

会長報告

- 週報に掲載してございますが、2015-2016年度RIテーマが発表されました。
「世界へのプレゼントになろう」「BE A GIFT TO THE WORLD」です。ロゴマークは週報をご覧ください。
- 北分区ガバナー補佐から2月17日(火)地区大会について、参加の依頼がありました。
既に登録は締め切っていますが、当日登録も可能です。
不参加で回答された方、未回答の方は、再度参

*** 大住省一会員**

寒いですね〜。体調にはくれぐれもご注意ください。

*** 長久保スミ子会員**

先週はインフルエンザにかかってしまい、お休みしてしまいました。風邪には充分気をつけて下さい。

*** 新里時夫会員**

今日、ホテルにリクエストして、とてもおいしい「つみれなべ」を用意してもらいました。

ニコニコBOX	8,000円
累計	759,400円

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

「ロータリー創立記念日 公共広告」について

2月23日のロータリー創立記念日を中心に本年度も公共広告を主要都市の大型ビジョンと各クラブのホームページで展開する計画を進められています。

全国14箇所の大型街頭ビジョンでの放映と各クラブのホームページの展開による相乗効果で、「ロータリーの公共性イメージの向上」と「ロータリーの認知度アップ」するのが目的です。

【街頭大型ビジョンの全国放映箇所

(都内で放映される場所のみ抜粋)】

渋谷ハチ公前交差点、原宿神宮前交差点、有楽町数寄屋橋交差点、新宿東南口、新宿東口、六本木交差点、池袋(新規)、吉祥寺駅前ビジョン(新規)、東京立川(新規)

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

「日常会話の中でよく使われている『コミュニケーション』語について」

近藤博隆会員

1945年以前に幼少年・青年期を過ごしてきた、一人として時々、日本語会話の中のカタカナ語で慣用されている外来語について、本来の日本語だったらなんと云うのだろうと、考えることがあります。

その代表的なものが「コミュニケーション」です。

1. その慣用されている意味は人間関係における意思伝達ということでしょうか？

社会活動の主体は人間活動であり、その人間が種々の文明の利器を使い自分から他人へ意思伝達を伝えようと発言又は発信しているのです。

2. 1のようななら何も外来語を使わず、本来の日本語でもいいはずですが、1945年以降のわが国情の多方面の変化の中で主として英米語が入り交ざるようになり、入り交じって日本流に慣用され、今や日本語の中にカタカナ語として日本化されているのでしょうか。

ある時迄は公文書の中にはカタカナ語として日本化された本来の外国語はありませんでした

が、今では公文書でもカタカタ語が見かけられます。

こういう社会現象の中で日常会話で改まった席に置いて日本語化されたカタカナ語でなく、私が育てられた日本語の中で言葉を選んでお話しをしてきましたが今振り返ってみると、うまく意図が伝わらないようです。これも「コミュニケーション」の問題と言うことになりました。

3. そこでコミュニケーション (Communication) の本来の意味を辞書で確かめました。

- 1) 伝達、病気の場合は伝染
- 2) 通信、通話、文通
- 3) 報道機関、情報伝達技術
- 4) 手紙、消息
- 5) 学会発表論文
- 6) 交通機関、交通
- 7) 軍事分野での伝達、連絡

以上の広範囲、多面的な用語と理解されます。

4. そこで何をいいたいかという、

1) 原語を承知した上で既に日本語化されたコミュニケーションをためらうことなく使い続けましょう。

しかし、英語で他個人と会話又は文通の際は原語に立ち返って、こちらの意図が少なくとも相手に誤解というより戸惑わせないようにしたいと思いました。

2) 日本語で会話の中で相手との共通感を活用する為、よく故事・ことわざもよく使用されますが、この場合相手がこのことを承知されているときは有効であり共感度を強めますが、相手が唐突に感じたときは、かえってその使用がコミュニケーションを阻害することも心得ておきたいものです。

3) 知ったかぶりのようで恐縮ですが、あるもので調べたところ、

ア、「目」に関するコトワザが50例
「生き馬の目を抜く」とか「後ろに目なし」等々

イ、「口」に関するコトワザが41例
「口が動けば手が止む」とか「死人に口なし」等々

ウ、「鼻」に関するコトワザが4例
「鼻毛を読む」「鼻先に身成る」「鼻の下の十万坪が埋まらぬ(貧乏で食事が十分出来ないこと)」鼻息を仰ぐ

4) 以上は他人に読んでいただく為に書いた標題ですがコミュニケーション上、何かのお役に立ったでしょうか。

以上